



浅野さち通信



市民相談は浅野さちまで！ 090 (1763) 7785



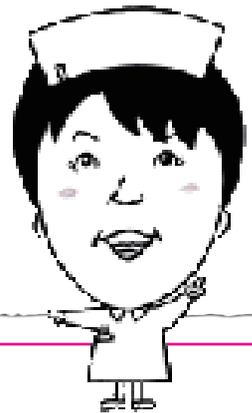
発行者：市川市鬼高1-14-3 浅野さち 令和8年3月発行

令和8年2月議会報告 いのちと健康を守る

いつも大変お世話になっております。浅野さちでございます。

2月定例議会が3月12日に終了致しました。令和8年度当初予算が可決され承認されました。一般質問と共に皆様の生活に関する事業を抜粋して何点かご報告致します。

また、3月11日は東日本大震災から15年目となりました。犠牲になられた多くの方々に深く哀悼の意を捧げます。震災に対し日頃からの準備が必要です。



終活支援について

自分自身の尊厳を託す、大変重要なテーマであります。本市の終活支援は周知啓発としてエンディングノートの作成「私と家族の終活べんり帳」の配布。講座は高齢者サポートセンターにて行っています。終活は必要と思う方が大多数ですが実践していない方が8割とのアンケート結果から意識変容が重要です。終活は年齢関係なく感じた時に実践しましょう。

身寄りのない高齢者支援について

一般的には親族による支援が得られない、または日常生活や手続きなどを担う家族がいない高齢者であると認識しています。

本市の65歳以上の高齢者は、本年1月末現在で約10万7000人、そのうちの一人暮らしの方は約3万5000人と高齢者の約3割となっています。親族がいたとしても頼ることができない、あるいは面倒をかけたくないという高齢者が増えています。今後、国はモデル事業でも行っている。総合的な支援体制として

一つ目「包括的な相談・調整窓口の整備」コーディネーターを1名以上配置し、サービスを組み合わせた支援プランの作成と各種サービスの履行状況を継続的に確認する事業。

二つ目「総合的な支援パッケージ」本人の意思決定を尊重しながら、定期的な訪問による「日常生活支援」入院・入所の「手続き支援」葬儀や納骨などの「死後事務の支援」を行います。重要施策のため早期に準備を進めるよう強く要望しました。





健康ポイント Aruco 事業の拡充！

この事業はアプリ等を活用し（歩く・血圧や筋肉量・内臓脂肪量等を測る）ことにポイントを付与するものです。参加者が健康を意識して、より良い生活習慣を目指すための支援ツールです。現在、登録人数は約1万人となっており今後更に拡充するために、周知啓発のために関係部署との連携や、例えばバランスの良い食事や健診等を受信した場合は健康ポイント付与の拡充。また、体組成計設置においては地域の偏りがないように精査し、ショッピングセンターをはじめ新たな配置場所の設置を強く要望しました。

令和8年度の事業です！

1



ゴールドシニア事業（チケット75）議会で質問し配布枚数の拡充開始！

- A バスだけの場合20枚
- B タクシーだけの場合10枚
- C バスとタクシーの場合バス10枚とタクシー5枚

この3通りに選択できます。

3



脱炭素先行地域づくり事業 国が目標としている2050年カーボンニュートラルの実現に向け、妙典エリアをモデル地域として断熱改修・太陽光発電設備・蓄電池などの導入などに対して導入費用の最大3分の2を助成します。（国の補助金）

2



移動プラン75信篤地域運航事業（デマンド型の乗合タクシー）昨年11月から開始され本年10月末まで試験的に運航しています。

信篤地域内の移動300円
区域外（西船駅、本八幡駅、市文化会館）500円となります。なおチケット75のバスチケットが活用できます。誰でも乗車できます。多くの方に活用して頂き今後他地域にも拡大できるよう宜しくお願いします。

4



ペットボトル分別収集事業で再資源化を更に推進します。収集日は今までのプラスチック収集日と同じ日です。

収集方法は

- 1 キャップとラベルを外す
- 2 中身を軽くすすぐ
- 3 軽くつぶす
- 4 収集用ネット袋に入れるとなります。